

## 平成 30 年度第 13 回理事会 議事録

日時：平成 31 年 4 月 23 日（火）19：40～21：00

場所：士会事務所

出席：（理事）小林伸一、磯野、高村、有泉、北山、井村、名取、菊池、三科、古屋、鈴木、大西、小林司

（部長）入倉

（監事）谷村、齋藤

書記：笠井、五味

### 会員管理情報

慶事 0 件、弔事 0 件、 施設数 136

会員数名 886 名（施設 827 名 自宅 59 名）

#### I. 会長挨拶

4 月 7 日、都内で行われた組織運営協議会に高村副会長と有泉局長と供に参加した。その中で話された内容を伝える。

臨床実習指導者の要件が、5 年以上の臨床経験かつ厚労省が指定した臨床実習指導者講習会（16 時間程度）を修了した者とする事になった。2021 年までに 15000 人ほど実習指導者を誕生させる予定となっている。

新生涯教育の方針が出たので資料を回覧する。

現在、理学療法士協会会館を取り壊しており、来年 2 月に六本木に完成する予定となっている。

#### II. 審議事項（全 7 題）

1. 2019 年度理学療法の日における事業企画（案）について：大西局長、井村局長

今年度の「理学療法の日」の事業において、広報部、公開講座部、地域連携部の 3 部局で企画案を検討した。3 部局で検討した企画案を報告する。

①例年通りイトーヨーカドーで啓発活動を行う。有力日は 7 月 14 日（日）

②公開講座を 7 月 14 日の翌週もしくは翌々週に開催できればよいが、日程については公開講座部において検討中。

公開講座の講師について昨年好評だった講師は、今回は予定が合わなかった。紹介してくれた講師も評判がよくない。理学療法の日に合わせて開催するとなると、当日まで 3 ヶ月までしかない。公開講座は例年 2 月ごろ開催しており、一定の参加者も集められている。どの程度、理学療法の日に開催してほしいという協会からの期待に応えるべきか。

○小林会長

7 月に公開講座を開催するのなら準備期間に 3 か月しかないので、今年度も 2 月をめぐりに行ってもよいのではないかと。協会の依頼に応じて無理する

ことはないと思う。今後は、来年度の事を念頭において計画を立てればよいと思う。

○磯野副会長

協会からの依頼には応えなくてもよいと思う。理学療法の日だから公開講座を開きましたではなく、今年度のテーマがこうだから有効な形でこの様な講座を開催しましたという流れがあると、理学療法を宣伝する意味でもよいと思う。

○北山局長

協会では参議院選もあり「理学療法の日」に公開講座を開催してほしいという考えがあると思うが、来年度に向けての検討でよいのではないかと

○谷村監事

集客数を考えるとイオンモールがよいのではないかと。

○大西局長

イオンモールは館内の渡り廊下の使用で 1 日 10 万円の費用がかかる。

<決定>

イトーヨーカドーで啓発活動を行い、公開講座は例年通り 2 月に開催していく。

動画のホームページ掲載については、どの程度の時間数、容量等が掲載できるか確認をしていく。事務局の Gmail でアカウントをとり You tube にアップすることはシステム的にはできるが、動画を掲載することで、どんなリスクが起こるかは不明なので慎重に検討する必要がある。

2. ①2019 年度の広報グッズ作成について

昨年度まで広報活動の一環として、フォルディングファン（携帯用うちわ）を広報グッズとして使用していたが在庫がなくなった。今年度グッズ作製にあたり、新たにグッズを作製していきたい。

3 部局（広報部、公開講座部、地域連携部）で企画案を検討した際には、マスクケース、ポケットティッシュ（ウェットティッシュ）、ボールペンなどが挙げられた。

②PT 士会配布用のチラシの増刷について：大西局長

一昨年度 PT 士会作成のチラシを作成し、各イベントで配布したため在庫がなくなった。今年度の広報活動で使用するためチラシの増刷をしたいがよろしいか。チラシの内容は前回作成した内容でよろしいか。

③PT 士会配布用の紙袋の作製について

一昨年度、PT 士会の紙袋を作製し各イベントで配布したが在庫がなくなった。次回以降の広報活動で使用するため、紙袋を前回と同様に作製したいがよろしいか。

<決定>

①～③すべて提案通り作製することで決定。

3. 会報誌 Supporters の企画について：大西局長

ここ数年続いていた会報誌 Supporters 秋号での特集「新人理学療法士 転入会員紹介」を企画から外す。新たな企画で新人理学療法士・転入や入職した施設一覧、それとともに施設紹介や余興の写真在不順にて掲載することを考えている。

<決定>

顔写真を個別で掲載することはせずに新人の集合写真を載せる。不都合な人は申し出てもらう。

4. 事務管理局総務部の決算について：有泉局長

平成 30 年度事務管理局総務部の決算にあたり 66,781 円の不足分が発生した。会計事務所からは、予備費から支出処理として決算報告書に記載することで了解を得ている。今回の件について、報告書のとおり理事会に報告するとともに、再発防止策を構築していくことを承認していただきたい。今後、当士会の財務運用規定を策定し、より一層の透明性を図っていく。今回の件については改めて謝罪いたします。

解決策として事務管理局総務部内での業務内容の明確化、ダブルチェック体制の強化、事務管理局総務部内での「財務運用規定（仮称）」の策定を行う。

策定のスケジュールは士会事業が本格的に開始される 6 月中とし、3 ヶ月を目途に問題点を抽出、必要ならば改定を行う。

○小林会長

手持ちの現金の支出について毎月の理事会で報告するようにしてもらいたい。

○谷村監事

現金出納帳（1 万円札が何枚あるか、確認印鑑を押す）にしっかりと記録するように、来月から施行してほしい。

Ⅲ. 報告事項（全 14 題）

1. 各種委員会報告

・表彰委員会：有泉局長

（公財）昭和大学医学・医療振興財団から「第 6 回昭和上籐医療賞」の推薦依頼について  
受賞件数は 3 件までで副賞は 1 件 100 万円。詳細な表彰規程を作成する必要があると考えている。

○小林会長

名簿を作成しているが、漏れがないかどうか理事の先生方に確認をしていただきたい。どの賞をもらったときにどの先生が当てはまるか今後、谷村先生にお伺いをしていく。

・特別支援教育委員会：有泉局長  
明日、第 1 回委員会開催予定。

・がんリハ：小林会長

今年度研修会を実施する予定。6 月の県議会で決まる。

・やまなし地域リハ・ケアを考える会について：磯野副会長

研修会をすることで話が進んでいる。今まで取り組んできた成果物を作る予定。

・オリ・パラスポーツ委員会：有泉局長

オリンピック後の障害者スポーツについて考えていかなければならない。今後、提案をしていく予定。

・専門職団体協議会：小林リハ専門職団体協議会理事  
4 月 8 日に年度末事業監査を実施した。

2. 社会局：古屋局長

①富士薬品セイムスウィメンズカップ in 甲府の報告について

3 月 25 日～3 月 31 日の期間、山梨大学横根テニスコート 12 名を派遣した。利用者は日本人 7 名、外国人 17 名、延べ 85 件であった。

②ラグビーフランス代表チームへのマッサージサービスについて

9 月の県内合宿で 1 日 2 名 2 時間（選手 12 名対応）、10 日間の派遣を希望されている。地元士会からのサービス提供として関わっていくが、1 人のスタッフが 2 時間で 6 名の対応は大変と思われるため、スポーツ PT 部独自で 2 名程度の増員（4 名体制）を検討している。

そのような対応が可能か交渉していく。

③U14 須玉国際テニス依頼について

6 月 22 日～7 月 5 日、2 大会連続 14 日間、1 日 2 名体制で関プロ士会に 1～2 名の受け入れ案内があった。

④躰道北陸甲信越大会依頼について

6 月 30 日に 6 名、必要に応じて東京都士会へ受け入れを案内する。

Ⅲ. 事務管理局より：有泉局長

①後援承諾（1 件）

2019 年度日臨技、山梨臨床検査技師会主催「他職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会」

②糖尿病対策推進委員会の設置について

今年度から新規の委員会として設置。委員長は湯村温泉病院の藤田先生に引き受けていただいている。

③今後の日程について

・5 月 21 日（火）：総会、スコレーセンターで 19 時開始。

会場近くの所属の方は会場準備等のご協力をお願いしたい。

・5 月 28 日（火）拡大理事会、場所未定、19 時開始。

局長は部長へ出席の声掛けをお願いしたい。

委員長、他の出席者には事務管理局から声掛けをしておく

④定款変更に関するお願い

定款変更（理事数と副会長の増員を予定）に関わる総会の賛成決議は社員（全員）の2/3が必要。

所属施設の会員を中心に委任状提出の声掛けをお願いします。

現在、欠席が300枚、出席が30～40枚届いている委任状を出していない方には理事が所属のスタッフに声掛けをしてほしい。

IV. 次回の理事会日程について

日時 平成31年5月28日（火）19：00～

場所 未定

連絡 5月24日（金）までに審議事項および資料を事務管理局（有泉理事）へ提出する。  
議題がない場合でも事務管理局へ連絡する。